

# 次世代低公害車技術開発プログラム

2000

2004 2005

2010

市場規模1.1兆円

市場創出規模2.6兆円

研究段階

導入・普及段階

次世代ハイブリットシステムの開発

DME自動車の開発

高効率天然ガス自動車の開発

次世代大型車革新的環境技術開発

DME直接合成技術の開発

重質残油クリーン燃料転換プロセス技術開発

石油精製汚染物質低減等技術開発

革新的次世代低公害車  
総合技術開発

企業毎の商品化開発競争

燃料インフラサイドについても、輸送・貯蔵面等の流通システムの構築や、コスト面を含めた本格的普及について検討

大型車を中心とした次世代  
低公害車  
燃料等の開発

燃料電池自動車の開発

固体高分子形燃料電池システム技術開発事業

水素安全利用等技術開発事業

一層の性能向上・低コスト化を  
図る共通的要素技術開発

軽量化

自動車軽量化技術開発プロジェクト

(アルミニウム、CFRP、超微細粒鋼、カーボンナノファイバー)

施策連携

低公害車導入に係る財政措置・税制措置 等

## 政策目標

2010年を目標に、乗用車については燃料電池自動車を、大型車については燃料電池自動車の技術開発を、車体面・インフラ面併せて包括的に推進することによって、次世代低公害車の早期実用化を目指す。

環境負荷の小さい自動車社会の構築

我が国自動車メーカーの国際競争力強化